

もっと学びたい人へ (9)

❖ ❖

第9課で、動詞シルシ形の時ナシ動詞のハアル表現について見ました。

((例))

▽ [動詞シルシ形](時ナシ動詞) ハアル表現

主語の シルシ	+	場所の シルシ
------------	---	------------

このハアル表現で表わされるのは、「～はある」状況のみで、普通は現状が表わされるのでしたね。ここでは、「～はあった」や、「～はあるだろう」といった、過去と未来の「～はある」状況の表わし方について見ておきましょう。

❖ .. ❖

それから、ガアル表現やハアル表現で用いられる時ナシ動詞についても、もう少し詳しく一緒に見ていきましょう。

❖ ❖

◆ [動詞シルシ形] (時ナシ動詞) ハアル表現の過去形と未来形

動詞シルシ形の時ナシ動詞ハアル表現で、過去と未来の「～はある」状況を表わすには、「～である」、「～になる」という意味の動詞本体 '+ wa' を用います。ガアル表現や、'A ni B' の文の場合と同じですね。つまり、「～はある」状態「であった／になった」、「～はある」状態「であるだろう／になるだろう」というように、動詞シルシ形スル・シタ式で表わすのです。否定形も同様です。

Wamo dukani.

〈彼らは店の中にいる。〉

Hawamo dukani.

〈彼らは店の中にいない。〉

((例:過去の「～はある」状況))

Walikuwa wamo dukani.

〈彼らは店の中にいた。〉

Walikuwa hawamo dukani.

〈彼らは店の中にいなかった。〉

((例:未来の「～はある」状況))

Watakuwa wamo dukani.

〈彼らは店の中にいるだろう。〉

Watakuwa hawamo dukani.

〈彼らは店の中にいないだろう。〉

‘+ wa’の前の‘-ku+’は、動詞シルシ形の音の調子を整えるために挿入されています。また肯定形では、以下のように表わされることもあります。

Walikuwamo dukani.

(**Walikuwa wamo dukani.**)

Watakuwamo dukani.

(**Watakuwa wamo dukani.**)

❖ .. ❖

◆ 時ナシ動詞

さあ、時ナシ動詞を、これまでに3つ見てきましたね。第1課で最初に学んだあいさつの‘+ jambo’も、実は時ナシ動詞だったのです。確認していませんでしたが、このカワリナイ表現の‘+ jambo’は、否定形のみで用います。肯定形で表わすことはできません。

▽ (時ナシ動詞) カワリナイ表現

主語の シルシ	+ jambo
------------	---------

(否定形)

▽ (時ナシ動詞) ガアル表現

主語の シルシ	+ na
------------	------

▽ (時ナシ動詞) ハアル表現

主語の シルシ	+ po
	+ ko
	+ mo

これらカワリナイ表現の‘+ jambo’、ガアル表現の‘+ na’、ハアル表現の‘+ po /+ ko /+ mo’は、他の動詞シルシ形と同じように主語のシルシを採ります。また、これらは過去形や未来形にすると、「～である」、「～になる」という意味の動詞本体‘+ wa’を伴って、動詞シルシ形スル・シタ式の形になります。

しかし、これらの表現には「時(とき)」を表わすシルシがなく、‘+ jambo’、‘+ na’、‘+ po /+ ko /+ mo’は、他の動詞本体とは区別されます。よって、これらを総称して**時ナシ動詞**とここでは呼ぶのです。

この時ナシ動詞の仲間にもう一つ、‘+ ngali’があります。これは、「まだ～である」という意味の、**マダ表現**の時ナシ動詞です。

▽ (時ナシ動詞) マダ表現

主語の シルシ	+ ngali
------------	---------

例も見ておきましょう。

((例))

Angali kijana.

〈彼はまだ若い。〉

(彼はまだ若者である。)

Wangali wanasoma.

〈彼らはまだ勉強している。〉

3人称単数は、主語のシルシとして、‘yu-’も使うことができます。

Yungali kijana.

〈彼はまだ若い。〉

(彼はまだ若者である。)

マダ表現は、肯定形のみです。

... ❀

